

令和元年第3回（8月）瀬戸内市議会定例会

行政報告

本日は、令和元年第3回（8月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

8月15日に広島県に上陸した大型の台風10号は、当初暴風、大雨、高潮による大規模な災害が予想されましたが、一部で道路の冠水や倒木による通行止め、また、一部地域での停電はあったものの、幸いにも人的被害はありませんでした。今回の台風は、国の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、初めて経験する災害対応で、本市においては、このガイドラインを基本とし、岡山地方気象台からの情報をもとに、起こり得る災害を想定し、避難情報を発令しました。市内に開設した4か所の避難所には、最終的に30世帯、44人、また、福祉避難所には8人の避難者がありました。

災害の発生を防ぐことは困難であり、どうやって命を守るのかが重要です。市としましては、今後も市民の方が、「自らの命は自らが守る」という意識をもって自らの判断で避難行動ができるよう、的確な避難情報を発信していきます。

以上申し上げ、早速ですが行政報告に移らせていただきます。

危機管理部関係

○ 災害時におけるドローン（無人航空機）の活用に関する協定締結について

災害時におけるドローンの活用について、7月26日に株式会社イエローライン山陽との間で協定を締結しました。

この協定により、本市において災害が発生した場合に、事業者の協力を得て、上空からの映像等により災害現場の情報収集や捜索活動を行うことで、迅速な災害対応が可能になると考えています。

9月8日の水害を想定した瀬戸内市総合防災訓練では、事業者にも参加していただき、ドローンによる情報収集訓練を実施する予定です。

災害協定については、これまでも資機材の提供、物資の供給や福祉避難所等について協定を締結しています。今後は犠牲者を出さない取組として新たな情報伝達手段の災害協定についても前向きに検討していきます。

総合政策部関係

○ 地方創生推進交付金事業について

2019年度第2回地方創生推進交付金に申請していた「アートからはじめる歴史と文化を活かしたまちづくり事業」が、対象事業に採択されました。

この事業は、市民のシビックプライドの醸成と、転出人口の減少を図るため、本市の歴史・文化資源の重要性・価値を積極的に情報発信し、市内外に本市のファンを増やすとともに、税外収入の獲得や産業・人材の育成により、地域資産を最大限に活用した魅力あるまちづくりを行うものです。

なお、関係する予算を今議会に補正予算として計上しています。

環境部関係

○ 海ごみの環境学習について

さる8月7日、岡山県・三大河川リレー事業・海ごみ対策として、岡山県と本市の共催で「海ごみの学習会」が牛窓ヨットハーバーで行われ、放課後児童クラブの子どもたち20人が参加しました。

これは、漂流ごみ、漂着ごみ、海底ごみ、などの、いわゆる海ごみによる環境への悪影響が大きな問題となっていることから、広く県民に関心をもってもらうことを目的に毎年開催しているものです。

当日はヨットハーバー周辺のごみ拾いをした後、海ごみの勉強会、海ごみを素材にした作品づくりを行い、最後に岡山県全域で県民の連携した海ごみ対策を進め、美しく恵み豊かな瀬戸内海を未来につなげていく「おokayama瀬戸内海保全宣言」を参加者一同で再認識いたしました。

参加した子どもたちからは、「海にごみを捨てないようにしたい」「家族で海ごみについて考えていきたい」といった意見が寄せられました。

また、近年ではプラスチックごみが5ミリ以下まで細くなったマイクロプラスチックが魚などに誤飲され新たな環境への懸念材料になっており、今後も、岡山県等関係機関と連携し、環境についての学習会に積極的に取り組んでいきます。

保健福祉部関係

○ 今城幼稚園・今城保育園の施設のあり方について

7月21日に、今城幼稚園・今城保育園の施設のあり方について、今城幼稚園・今城保育園保護者説明会を開催しました。

説明会では、今城幼稚園と今城保育園の利用者の推移を示し、幼稚園は園児数が年々減少していること、保育園は低年齢児の受け入れ枠を拡大するため、保育室や保育士を確保する必要があることを説明しました。

これらの課題解決のために、こども園化を検討している旨、説明し理解を求めました。保護者の方からは、保護者会活動のあり方、就労の有無による立場の違い、保育士不足、保育料の無償化等についての質問がありました。

今後については、今城幼稚園と今城保育園の保護者、幼稚園教諭、保育士と共に、施設改修や教育・保育の方針について、協議をしていきたいと考えています。

その協議を進めるに当たっては、必要な基準を確保するための施設のあり方を検討するため、今議会に施設改修に伴う補正予算を計上しています。

病院事業部関係

○ 患者数の状況について

平成31年4月から令和元年7月までの患者数は、外来が17,362人で前年同期と比較して168人の増加、1日平均209.1人となっています。一方、入院が11,118人で前年同期と比較して83人の増加、1日平均91.1人で、病床稼働率は82.8%となっています。入院患者増を図るため市民病院の診療機能や最新情報の更なる発信、救急医療対応、他病院等への訪問、接遇力の強化など医療の質の向上に取り組んでいきます。

なお、経営改善については、引き続き9月末に開催予定の病院等運営審議会での評価、ご意見を病院運営に反映するとともに経営企画室を中心とした取組により、新病院改革プランの目標達成に向けて努めていきます。

○ 駐車場整備について

8月から駐車場の外灯の電気工事に着手しています。今後は、給水工事、外構工事、舗装工事、サイン設置、植栽等の施工を実施し、今年度末までに駐車場整備を完了する予定です。

また、敷地内に建築中の新薬局店舗は、11月初旬に開店予定で、既存薬局店舗は、新店舗の開店後に取り壊し、駐車場への進入路として整備します。

ご来院の皆様には、大変ご不便をお掛けしておりますが、安全を最優先に施工していきますのでご理解とご協力をお願いします。

消防本部関係

○ 上半期の火災救急概況について

まず、火災の状況につきましては、今年1月から6月までの上半期の火災件数は10件で、前年の同期より3件増加しています。

火災種別で見ると、建物火災6件、車両火災1件、その他の火災3件となっています。特に建物火災が多く発生しているため、市民の方への防火指導、広報活動により予防啓発に努めているところです。

次に、救急の状況につきましては、出動件数は967件で、前年の同期より111件の増加となっています。

事故種別では、急病が618件（63.9%）、年齢別では65歳以上の方が683人（70.6%）、程度別では、軽症が353件（36.5%）であり、急病、高齢者、軽症者が依然高い割合となっています。このことから、救急車の適正利用、高齢者の家庭内事故を防ぐため、予防救急の

啓発活動を継続していきます。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例 8 件、補正予算 8 件、その他 14 件、計 30 件です。

よろしくご審議をいただき、適切なお決定をいただきますようお願い申し上げます。市長部局の報告を終わらせていただきます。

令和元年 8 月 28 日

瀬戸内市長 武久 顕也